

表4 低線量CT以外の肺がん検診の死亡率減少効果に関する研究

研究・著者	文献No.	報告年	研究デザイン	症例数	対照数	対象	比較した検診法	結果	有意差
PLCO	19	2011	無作為化比較試験	77,445	77,456	55-74歳男女 非喫煙45% 重喫煙既42%、重喫煙現10%	直接胸部X線年1回3-4年 vs. なし	1,000人年あたりの肺癌死亡率： 検診群1.40、対照群1.42	なし
Doria-Roseら	20	2009	Johns Hopkinsと Memorial Sloan- Ketteringの統合解析	10,194	10,232	45歳以上男性重喫煙者	直接胸部X線年1回 + 喀痰細胞診年3回 vs. 直接胸部X線年1回	1,000人年あたりの肺癌死亡率： 検診群3.49、対照群3.95	なし
Dominioniら	21	2010	コホート研究	1,244	4,571	45-75歳男女 喫煙指数200以上	直接胸部X線年1回4回 vs. なし	1,000人年あたりの肺癌死亡率： 検診群4.95、対照群3.53 肺癌死亡率比 (MRR) 1.40	なし あり